

(一) 一般理論も、指導者にとつては、一般研究でやる程度のもでは無論不足だ。特別研究会では、より専門的な研究をやる必要がある。例へば、經濟理論にしても、單に基礎理論だけでなしに、現下の世界經濟恐慌の研究や日本資本主義の發展過程並にその現狀に關する研究などが必要だし、政治理論にしても、日本國家機構の解剖や日本に於ける階級構成の研究や、したがつて又、労働者階級と農民との提携に關する問題や、その他等々、山のやうに多くの問題が研究されなければならない。これらを系統的に研究するのが、この特別研究会の役割である。

(二) 又、組合の指導者としては、オルガナイザーとして、並にストライキリーダーとして必要な専門知識を把握してゐなければならぬ。そのためには、労働組合運動の基礎理論を徹底的に把握すること、技術的な問題に關する一般方針を充分にのみ込んで置くことが必要である。特別研究会は、その要求に應じて作られたものでなければならぬ。

(三) 特別研究会の教科書は、とても二冊や三冊では間に合

はない。教科書は研究会指導者が適當に選擇して、提示する必要がある。但し、組合運動に關するものは一般のものとしてはプロヒンタン、マジプロ部の「國際労働組合學校の講義録」(希望閣發行)が最も理想的だ。日本の當面現實の問題を中心としたものとしては、總評事、回大會議案が、大會の討議を経て、やがて中央執行委員の手によつてマトマッタ方針書として完成されると思ふから、それを使用すべきである。

(四) 特別研究会は、毎週一回(一回三時間限度)位の割に半々年位を二期としてプランをたてるのが適當である。

(五) 各組合毎に特別研究会を持つことが困難な場合は、地方評議會で計畫してもいい。但し、各組合の青年團上をなるべく多く参加させること。

(六) 教育課程は、研究会指導者が作る。但し、追つて中央執行委員は基準になるやうなものを發表する筈である。(その時に適當な参考書も發表する)

(七) その他研究会指導に關する注意は、無産者政治教育第四部を常に参考すること。(以上)

## 失業反對闘争に關する方針

### A 恐慌の深化と失業者の増大

(イ) 現在、すべての資本主義國家に極めて甚大なる失業者群の存在してゐることは、最早や何人にも否定し難い事實である。アメリカに於ては約六百萬の、イギリスに於ては約二百萬の、ドイツに於ては約四百萬の、日本に於ては約百五十萬の失業者が、既に街頭に投げ出され、餓死的生存を強制されてゐる。

(ロ) 各資本主義國には、なほそのほかに、甚大なる半失業者——操短労働者の大群が存在してゐる。しかも、この甚大なる失業者群は、今後、世界經濟恐慌の一層の擴大、深化につれて、愈々、その數を増すであらうことが豫測される。

(ハ) 資本主義の存続する限り、最早や失業者は増る一方だ

慢性的な失業者の大群！これが帝國主義第三期に於ける資本主義の一般的相様だ。

(ニ) この失業問題に對して、全労働者を動員し、敢然として戦ふことは、左翼労働組合の重大任務である。

### B 失業問題と左翼労働組合の任務

(イ) 甚大なる失業者群の存在に對しては、ブルジョアジーは、たしかに恐怖を感じてゐる。彼等は、『もし革命的分子が失業者運動をリードするならば、自分達の支配が忽ちグラツキ始めるであらう』ことを洞察してゐるから。

(ロ) そこで彼等は先づ失業者の反抗を緩和するために、極めて偽善的な失業手当制を制定する。——日本では、それすら實施されてゐない——そして、それと同時に、一部の失業者をストライキ破りに使用し、反動的諸団体へ組織し